



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2015.4

No.372

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O

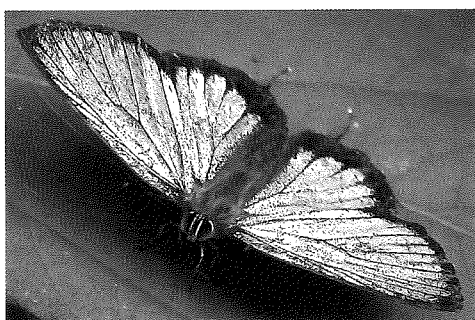


秋ヶ瀬公園と周辺の蝶

海老原美夫(さいたま市)

本誌 2013 年 6 月第 350 号の「哺乳類」、2014 年 3 月第 359 号の「小動物」に続く第 3 弾。今回は「蝶」。と言っても、私は例によってこの地域の蝶類全般について学術的に語る知識も何もない。ただ単純に、私が気になる蝶、好きな蝶たちについて、勝手なことを書くことにする。鳥を見る合間に、少し楽しみが増えることを願いながら。

●ミドリシジミ



秋ヶ瀬の蝶と言えばミドリシジミだ。シジミチョウ科。前翅長 2 cm 前後。ロシア極東地域、中国東北部、朝鮮半島、日本に分布する。埼玉県レッドリストでは準絶滅危惧種に指定されている一方、「県の蝶」にも指定されている。ハンノキを食草とし、秋ヶ瀬公園のハンノキ林が重要な生息地になっている。

日本のミドリシジミは、本州以南に生息する *Neozephyrus japonicus japonicus* と北海道に生息する *N. j. regina* の 2 亜種に分かれるが、秋ヶ瀬公園にいるのはもちろん前者。その名も凛々しい 2 連「ジャポニカス」!

6 月下旬から 7 月初めの朝 7 時ころまでにピクニックの森などに出かけてみると、通路わきの草の葉にとまっているのに、出会える

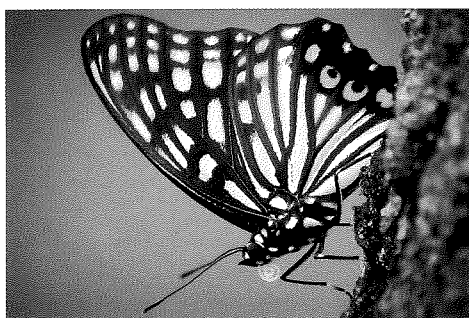
かもしれない。日が高くなると木の上の方へ上がってしまうので、なかなか見ることができなくなる。

オス(写真左上)は翅を広げて見せてくれれば、角度によって緑にも青にも見える光沢色が美しい。いつまで待っても広げてくれないこともあるので、図鑑を見て裏面の模様も覚えておこう。

メスは、表面全体が褐色で斑がない O 型、朱色っぽい小さい斑だけがある A 型、青色の長めの斑のある B 型、両方の斑のある AB 型、まるで血液型のような呼び方の 4 型に分かれる。それぞれの中間型もあり、写真左下は、少し AB 型にも見える B 型だと思う。

私はまだ A 型を見たことがない。オスの美しさには魅せられるが、メスをいろいろ見つけるのも、また楽しい。

●アカボシゴマダラ



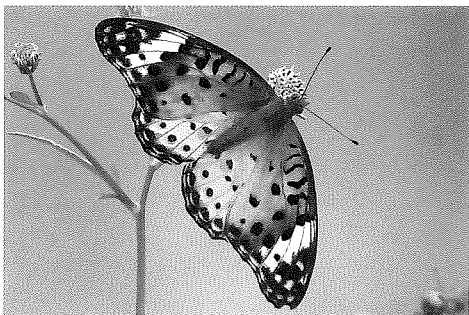
タテハチョウ科。前翅長 5 cm 前後。全体に白黒の縞模様で、夏型成虫は後翅後部に赤い斑点が目立つ。春型は赤い斑点がない。本来ベトナム北部から中国南部東部、朝鮮半島などに分布し、日本には、秋ヶ瀬公園で見られる *Hestina assimilis assimilis* とは違う固

有亜種 *H. a. shirakii* が奄美諸島に生息しているだけであった。

ところが1995年に突然秋ヶ瀬公園で *H. a. assimilis* が発見された。この時は繁殖確認されず一過性のものと思われたが、その後1998年に神奈川県で繁殖確認され、分布を広げ、2010年以降は関東全域に定着、愛知県などでも記録されるようになった。その一連の流れの中で、秋ヶ瀬公園は、奄美大島の固有亜種を除き、国内初の観察地として名を残すことになった。今では毎年多数観察される。大陸中国から持ち込まれた人為的な放蝶として、外来生物法で「要注意外来生物」に指定されている。

白黒の縞模様と赤い斑点を閃かせて飛ぶ比較的大きな蝶で、見分けは難しくないが、前記の通り春型は赤い斑点がないので、ゴマダラチョウと間違えないように注意が必要。

●ツマグロヒョウモン



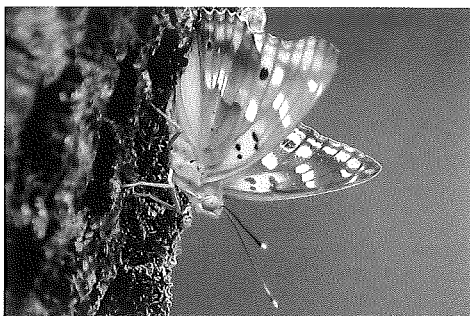
タテハチョウ科。前翅長4cm前後。この写真はメス。複雑な模様で前翅端の黒模様が特徴的な美しい蝶。オスは羽端の黒模様はないが、メス同様後翅の縁が黒いのが特徴。

アフリカ北東部からインド、インドシナ半島、オーストラリア、中国、朝鮮半島、日本まで広く分布している。日本では1980年代までは近畿地方以西でしか見られなかったが、徐々に分布域が北上し、2006年には関東北部でも普通種になったとのこと。これは人為的な分布拡大ではない。

私が初めてこの蝶を撮影したのは、2006年9月10日。秋ヶ瀬公園の北方に位置する大久保農耕地で、繁殖したシロハラクイナ家族の観察を続けていた時だ。土手の斜面を飛び交

う蝶の中で見かけない模様が目についた。だから、私にとってツマグロヒョウモンは、シロハラクイナと結びついて記憶されている。

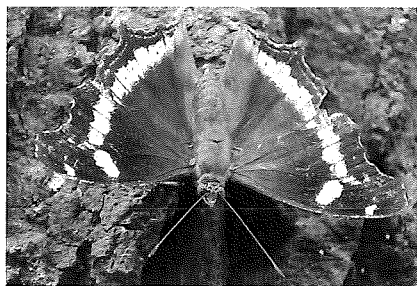
●コムラサキ



夏、鳥影が少なくなると、秋ヶ瀬公園の林の中の、樹液が滲みだしている木を探し、腰を据える。樹液酒場の常連客が目当てだ。スズメバチや甲虫類がひしめく中で、スタークラスはコムラサキ。タテハチョウ科。前翅長3～4cm。

オスの翅表面は、角度によって紫色に輝く。オオムラサキほど強い色ではない。淡く、時には見落とすほどの紫は、見えた時の喜びが深い。

●ルリタテハ



樹液酒場の常連客の中で、渋い脇役。これもタテハチョウ科。前翅長最大4cm超。

紺色の地に水色のラインが目立つ。本土亜種名は *Kanisuka canace no-japonicum*。この「no-japonicum」は、「日本語の『ノ』の字」という意味とか。水色のラインを「ノ」の字と見ている。面白いけれど、「ノ」の字のなんとか」という学名より、「瑠璃立羽」という和名の方が美しい。翅を閉じると、裏は木肌模様にそっくりだ。

2014 年 埼玉県内鳥見ランキング結果

普及部

恒例となりました県内鳥見ランキング、
2014 年の結果を発表いたします。

観察鳥種数部門は、吉原早苗さんが 151 種
でチャンピオンに輝きました。吉原さんは
2012 年が 2 位、2013 年が 3 位で、惜しくも優
勝を逃してきましたが、今回は見事にトップ
に躍り出ました。

探鳥会参加回数部門は、中川敏子さんが
49 回でチャンピオンになりました。中川さん
は観察鳥種数部門でも 2 位の好成績でした。

今回は、両部門ともに女性の活躍が目立つ
結果となりました。

2014年観察鳥種数ランキング

順位	鳥種数	氏名	住所
1	151	吉原早苗	北本市
2	147	中川敏子	さいたま市
3	135	千島康幸	小川町
4	127	今村富士子	さいたま市
5	102	榎本秀和	鴻巣市

2014年探鳥会参加回数ランキング

順位	参加回数	氏名	住所
1	49	中川敏子	さいたま市
2	46	吉原早苗	北本市
3	36	今村富士子	さいたま市

行事案内のおまけ

5月～8月「あの鳥は、どこで」予報

2010 年～2014 年の 5 月から 8 月の探鳥会
で見られた野鳥は、県内で 80 種、県外を含め
ると 172 種でした。そのデータに基づき、い
くつかの鳥について、出現確率が高い探鳥会
を調べてみました。さて今年は現れてくれる
でしょうか。

- シラコバト（宇和田公園で 5 月に 60%）
- ササゴイ（入間川で 7 月に 100%、5 月に
80%）
- ホトトギス（大麻生で 7 月に 80%、高麗川、
石戸宿、大麻生で 6 月に 60%）
- カッコウ（民家園周辺、石戸宿で 6 月に
40%）
- コアジサシ（黒浜沼で 5 月に 60%、民家園
周辺で 6 月に 60%）
- キビタキ（入間川で 5 月に 40%）
- アカショウビン（戸隠で 5 月に 40%）



昨年 4 月 29 日、長野県軽井沢野鳥の森で、
第 1 回冬羽から第 1 回夏羽に換羽中のキビタ
キ♂が水浴びをしていました。

榮 武男（春日部市）



鳥友と出かけた新潟県粟島で、ヤツガシラ
を撮影しました。思い出に残る感激のひと時
でした。

鶴飼喜雄（深谷市）



ササゴイ



野鳥情報

さいたま市岩槻区新方須賀 ◇1月2日、永代橋近くでコガモ10羽。カワセミ♀1羽、ホバリングで飛び込むも魚獲り失敗。セグロセキレイ2羽、キセキレイ1羽、イカルチドリ1羽。タヒバリ1羽が水浴び。1月25日、永代橋近くの元荒川でセグロカモメ1羽、コガモ約50羽、ヒドリガモ約100羽など。刈り取られたアシ原の中の水路でタシギ1羽、飛んで水路の奥へ。それを追っていたらクイナを発見。久しぶりの姿をじっくり見る（鈴木紀雄）。

渡良瀬遊水地 ◇1月3日、オオモズ1羽。成鳥と思われるが、下面にごく薄く横縞が見える。第1回冬羽なのか、亜種の違いか不明。ブッシュの中をよく潜行する一方、高い枝にとまり、目前でホバリングを見せてくれた。猛禽の罫入りはチュウヒ4羽、ハイロチュウヒ♂5羽、♀タイプ4羽＋、コチョウゲンボウ1羽（鈴木紀雄）。◇1月5日、新川でツクシガモ1羽（中村 弘）。

北本市北本自然観察公園 ◇1月4日午後4時頃、アトリ、シメ、カシラダカ、カケス、メジロ、ウソ♀、シロハラ、オオタカなど。北里の森でアカゲラとアオゲラを同時に見る。1月6日、アトリ、シメ、ウソ♀、アカゲラ、コゲラ、エナガ、カケス、シロハラ、カシラダカ、メジロ、マガモ、コガモなど。1月25日、バン3羽、カルガモ2羽、コガモ2羽。池が結水しているのでいずれも少ない。アオサギ1羽が池の傍の木にとまっていた。エナガ8羽＋の群れ、ベニマシコ♂♀各1羽、ホオジロ4羽、アトリ、シメ、アカゲラ1羽、コゲラ3羽、カシラダカ、モズ♂♀、ジョウビタキ♂♀、シロハラ、ツグミ、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、オナガ。アオジがあちこちにいる。カケスが目立つ。ヤマガラ6羽＋、何と1mの近さまで近寄ってきた。ハイタカ1羽、10m位上空を鋭く飛ぶ（本多己秀・久文子）。

さいたま市西区三橋 ◇1月5日、三橋総合公園に隣接する鴨川第1調節池の東側でヒ

ドリガモ♂9羽♀14羽、オカヨシガモ♂2羽。調節池の湿地ではオナガガモ♂7羽♀2羽が嘴を泥に突っ込んで一心に採餌。他にバン、オオバン、カルガモ、コガモ、イソシギ、カワセミ。アシ原にはカシラダカ、オオジュリン、シジュウカラ、メジロ、コゲラなど（大塚純子）。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇1月5日、散歩の人が歩く側でシロハラが落ち葉をひっくり返していた。1月9日、モズがオナガを追いかけたが、狩りに失敗。メジロが1羽枝移り。「アレ！ もう1羽はどこ？」と探したくなった。1月21日、上沼にカイツブリ1羽。ここでは珍鳥だ！ 1月26日、4羽のカケスが地面のドングリを食べて、喉袋をいっぱい膨らませていた。シジュウカラが轉った。上沼でカルガモ30羽に混じってマガモ♂1羽（長嶋宏之）。

毛呂山町新しき村 ◇1月5日午前11時25分、「新しき村」内の草原にツグミ1羽。そばの低木枯れ枝に止まっているモズが、一瞬地面のツグミを攻撃。鳴きながらツグミが飛び上がって逃げる。モズの方が強い!? 午後12時、高木にイカル1羽。群れでないのは珍しい（増尾 隆）。

さいたま市桜区と西区の鴨川 ◇1月8日、植田谷堰の下流中州でミコアイサ♂1羽が日向ぼっこしながら羽繕い。翼を傷めているのか、右の初列風切の部分がやや垂れ下がったままの状態。1月10日、植田谷堰付近でハシビロガモ♂1羽。1月11日、植田谷堰付近の中州でコガモ22羽、トモエガモ♂1羽、ミコアイサ♂1羽。植田堰上流、関沼近くの小さな中州でセグロカモメ1羽、獲物の魚を食べていた。他にマガモ♂8羽♀7羽、オオバン10羽＋、バン、カルガモ、カイツブリ、コサギなど。1月12日、ミコアイサ♂1羽は植田谷堰上流500m程の学校橋の下に移動。体を僅かに左に傾けて泳ぎ、繰り返し潜水。1月25日夕方、植田谷堰のコガモ30羽＋が学校橋の近くに集結。トモエガモ♂1羽も同行。やがて、コガモの♂が数羽の♀を囲んで求愛を始めた（大塚純子）。

さいたま市桜区田島 ◇1月10日、昭和水門下の鴨川の干潟の周辺でヨシガモ♂10羽♀9羽、先月の群れと同一か? (大塚純子)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇1月11日午後、元荒川でカイツブリ、セグロカモメ、イカルチドリ3羽、タシギ4羽、オオバン1羽、コガモ、カルガモ、ヒドリガモ、カワウ、アオサギ。アキニレの種子にとりつくウソ♂1羽♀3羽、アカゲラ、コゲラ、モズ、ムクドリ、シメ、カシラダカ、アオジ、ルリビタキ♀2羽、アカハラ♂1羽、シロハラ5羽、ツグミ、エナガ、ウグイス、カケスなど。夕暮れ時、東方上空、塹に向かうミヤマガラス約100羽の群れ。1月18日夕刻、いつものアキニレの種子にウソ♂1羽♀4羽(♀が1羽増えた!?)。シロハラが目立つ。ルリビタキ♀3羽、林内の道でミヤマホオジロ♂1羽、黄色が目に見える(鈴木紀雄)。◇1月25日、ウソ♀3羽、池の周りの雑草の実を時折ホバリングをしながら啄む。その後、木に移る。しばらくして飛び立った群れをカウントしたら10羽いた。他にキセキレイ1羽、アカゲラの声、コゲラ、エナガ、カシラダカ3羽+、アオジ、カケス、シロハラなど(藤原寛治)。

蓮田市黒浜 ◇1月11日、黒浜沼周辺でキジ♂1羽、オオジュリン。タシギを久しぶりに見る。アカハラ1羽、当地では珍しい(本多己秀・久文子)。

白岡市柴山 ◇1月12日午前10時20分頃、柴山沼近くの道路脇の木にミヤマガラスが20羽程。近くに車をとめて観察。するとミヤマガラスとは違う声も。木の枝を透かして見ると近くの枝にコクマルガラス暗色型が3羽並んでいた。そのまた近くの枝に淡色型が2羽。少しして、ミヤマガラスが飛び立つと、コクマルガラスも飛び立ち、すぐ脇の田んぼに降りる。田んぼには、いつの間にかミヤマガラスが集結していて250羽位の群れになっていた。その中にコクマルガラス淡色型10羽+、黒色型20羽+。強風の中、ミヤマガラスと一緒に行動していた(藤原寛治)。

坂戸市浅羽地区高麗川 ◇1月14日午前10時

10分頃、浅羽ビオトープのネムの木広場前を流れる高麗川右岸の水辺で行動する、赤味のある脚のシギ2羽。「ツルシギか、アカアシシギ?」と迷うも、眉斑が目の後部まであるので、ツルシギ冬羽と、同定する。写真撮影成功。当地、初観察記録です(増尾隆、坂口稔他数名)。

久喜市菖蒲町小林 ◇1月17日、ニューナイスズメ約30羽。畑地で採餌、電線に飛び上がるを繰り返す(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区深作遊水池 ◇1月18日午前11時30分頃、オカヨシガモ5羽、ヨシガモ♂1羽、マガモ、カルガモ、コガモそれぞれ数羽、オオバン10羽以上、カワセミ2羽、アオサギ1羽、ダイサギ1羽(菊川和男)。

松伏町まつし緑の丘公園 ◇1月24日、家族で探鳥に出かける。頭上に何か気配を感じ見上げたところ、コハクチョウ3羽飛来=下写真。これまでに、この公園でコハクチョウの記録があるかは不明ですが、探鳥初心者にとっては大収穫の日でした。翌日は確認できなかった(森谷幸一)。



さいたま市桜区神田 ◇1月24日、鴨川排水機場のクレーンの長いレールの上に50羽余りのカワウが並んでいるところへ更に四方より続々とカワウが飛来。仲間が到着の度、鳴き交わす(大塚純子)。

表紙の写真

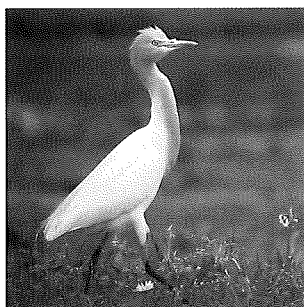
スズメ目ヒヨドリ科ヒヨドリ属ヒヨドリ

我が家の近所の公園にある大変枝振りの良い桜には、毎年、ヒヨドリが蜜を吸いに來ます。

宇野澤 晃(蕨市)



行事案内



アマサギ

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車・バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。実際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4 月 5 日（日）

集合：午前 9 時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。集合場所変わりました。

交通：JR 高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原（俊）、相原（修）、相原（友）、秋葉、浅見（徹）、大坂、岡安、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原（早）

見どころ：恒例お花見探鳥会。残っている冬鳥と、着いたばかりのツバメも楽しめます。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：4 月 5 日（日）

集合：午前 9 時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：伊藤、赤堀、大井、須崎、手塚、野口（修）、藤田、若林

見どころ：久しぶりにヘルシーロードコースを歩きます。見沼の春を楽しみましょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4 月 12 日（日）

集合：午前 9 時 30 分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:50 発に乗車。

担当：茂木、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、

飛田、中川、村上、

見どころ：ツバメと再会、ウグイスやヒバリ

のさえずりを聞き、野鳥の森まで歩きます。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：4 月 12 日（日）

集合：午前 9 時 30 分、西武狭山湖線西武球場前駅前。

担当：石光、久保田、小林（ま）、鈴木（秀）、長谷部、水谷、持丸

見どころ：トトロの森を中心に、森林浴を楽しみながら、冬から夏へ交代期の探鳥です。

長瀨町・宝登山探鳥会

期日：4 月 12 日（日）

集合：午前 9 時、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 8:00→寄居 8:28→長瀨着 8:48。または御花畑 8:12→長瀨着 8:32。

解散：12 時 30 分ごろ、山頂ロープウェイ駅前広場。

担当：井上、鶴飼、佐久間、堀口、松下

見どころ：この時季初の試みです。青や黄色、赤・・・信号？ 今から楽しみです。

ご注意：500m 位の山登り。飲み物が必要です。靴はスニーカーなど履きなれた物を。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：4 月 18 日（土）午後 3 時～4 時ごろ

会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：4月19日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：柴野、青木、赤堀、浅見（健）、浅見（徹）、石塚、楠見、小菅、小林（み）、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：ツバメ、コチドリに会える春。見沼たんぼでお楽しみ下さい。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月19日（日）

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交通：東武春日部駅西口から、朝日バス③番乗り場8:41発春日部エミナース行きで、「共栄大学入口」下車（260円）。西へ徒歩約7分。

担当：石川、菊川、佐藤、佐野、進士、野村（修）、野村（弘）、橋口、吉岡、吉安

見どころ：雑木林や屋敷林の樹冠、林床、田んぼや畔、用水土手などでゆっくり探鳥。

さいたま市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：4月26日（日）

集合：午前9時10分、桜区役所バス停付近。

交通：京浜東北線浦和駅西口②番バス乗り場から、大久保浄水場行き8:33発で「桜区役所」下車。

担当：小林（み）、赤堀、石塚、海老原（教）、海老原（美）、金子、新部、増田

見どころ：繁殖地を目指す鳥たちが、田んぼや森で、翼を休めています。

東松山市・物見山探鳥会

期日：4月29日（水・祝）

集合：午前8時50分、物見山駐車場（峠を越えた右側）。

交通：東武東上線高坂駅西口、川越観光バス②番乗り場から鳩山ニュータウン行き8:25発で「大東文化大学」下車、バス進行

方向へ徒歩約5分。

担当：中村（豊）、岡安、志村、千島、藤掛、松下

見どころ：新緑の山道。センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ。足元には春の草花。やや健脚向き。足ごしらえはしっかりと。

シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日（水・祝）

◆大久保農耕地（さいたま市）

集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角 近くの土手の上（グラウンド入り口）。

交通：浦和駅西口②番バス乗り場から8:33発「大久保浄水場」行きで終点下車、徒歩約15分。

担当：石井智（研究部）

解散は昼頃。小雨決行、大雨や悪天候中止。

東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：5月8日（金）～10日（日）

集合：8日夜9時、JR浜松町駅北改札口。集合後徒歩移動⇒竹芝栈橋東海汽船待合室。旅程：出航22:30。三宅島着9日朝5時。三宅島出航10日13:35。竹芝栈橋着19:50。

解散：竹芝栈橋にて10日20時30分ごろの予定。費用：27,000円の予定。（往復船賃、1泊3食、保険料など）過不足の場合は当日清算。

定員：20名（先着順、埼玉会員優先）。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢（保険加入に必要）、性別、電話番号を明記して、浅見徹（

）まで。4月1日消印から有効受付とします。

担当：浅見（徹）、青木、浅見（健）、小林（み）、藤掛

見どころ：アカコッコ、イイジマムシクイなど三宅島産希少種と船上からの海鳥観察。その他：往復2等船室。9日の朝食・昼食は各自持参。宿泊は男女別の相部屋です。

中軽井沢レディース探鳥会（要予約）

期日：5月16日（土）

集合：中軽井沢駅改札前 午前8時

交通：大宮発6:54（はくたか551）⇒軽井沢着

7:36、しなの鉄道に乗り替え7:42発→中軽井沢7:46着

解散：軽井沢駅南口14:30頃

担当：野口(由)、吉原(早)、菱沼(洋)

予約制：先着10名(埼玉女性会員限定)

申し込み：4月6日午前8時からメールで受け付け。Ladies_2015@wbsj-saitama.org メールに申し込み者氏名(一つのメールに一人の申し込み)と連絡可能な電話番号記入。受信後2日以内に返信メールします。返信メールがない場合はもう一度送信してください。

見どころ：中軽井沢駅～長倉神社～別荘地～野鳥の森。アップダウンのある道を約6キロ歩きます。ハルニレテラス内レストランでランチ会。(ランチ代1,800円～)

注意：現地までの交通費とランチ代は各自負担です。小雨決行。嵐・大雨中止。

長野県・戸隠高原探鳥会(要予約)

期日：5月30日(土)～31日(日)

集合：30日午前9時、長野駅コンコース、新幹線改札口を出て右側。

交通：長野新幹線「あさま601号」(東京6:52→大宮7:18→熊谷7:31→高崎7:49→長野8:41着)、または「かがやき505号」(東京7:20→大宮7:46→長野8:46着)

解散：31日午後4時ころ、長野駅前。「あさま662号」16:03発に乗車できるように調整します。

費用：12,000円の予定(1泊3食、現地バス代、保険料など)。万一過不足は当日精算。集合地までの交通費は各自負担。

定員：25名(先着順、埼玉会員優先)。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、菱沼一充

)まで。4月1日消印から有効受付とします。

担当：菱沼(一)、浅見(徹)、菱沼(洋)、藤掛、見どころ：例年より一週間遅れ。新緑も鮮やかに、アカショウビンに会えるかも。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。

2015年5月～8月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。ただし、これらは「予定」であって、変更されることがあります。確定情報は、当月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜	探鳥地
5	3	日祝	幸手市 宇和田公園
	5	火祝	茨城県 浮島(要予約)
	6	水休	千葉県 谷津干潟
	8-10	金-日	東京都 三宅島(要予約)
	10	日	熊谷市 大麻生[定例]
	10	日	蓮田市 黒浜沼
	16	土	長野県 中軽井沢レディース(要予約)
	17	日	さいたま市 三室地区[定例]
	24	日	狭山市 入間川[定例]
	30	土	加須市 加須はなさき公園
6	30, 31	土, 日	長野県 戸隠高原(要予約)
	7	日	北本市 石戸宿[定例]
	7	日	さいたま市 民家園周辺[定例]
	14	日	熊谷市 大麻生[定例]
	14	日	坂戸市 高麗川
	18	木	羽生市 羽生水郷公園(平日)
	21	日	さいたま市 三室地区[定例]
	28	日	日本野鳥の会埼玉 総会
7	5	日	群馬県板倉町 渡良瀬遊水地
	12	日	熊谷市 大麻生[定例]
	18	土	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	19	日	さいたま市 三室地区[定例]
	26	日	狭山市 入間川[定例]
8	2	日	北本市 石戸宿[定例]
	9	日	熊谷市 大麻生[定例]
	15	土	千葉県 谷津干潟
	16	日	さいたま市 三室地区[定例]
	23	日	千葉県ふなばし三番瀬海浜公園
	30	日	栃木県 松木溪谷・群馬県 多々良沼(要予約)
9	6	日	リーダー研修会
	21, 22	月祝, 火休	長野県 白樺峠(要予約)



行事報告

11月9日(日) 春日部市 内牧公園

参加：29名 天気：曇後雨

キジバト コゲラ モズ ハシボソガラス ハシ
ブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ
ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ
カワラヒワ シメ アオジ (15種) 途中降雨を考
慮して今回は樹林の道を辿る。じゃぶじゃぶ池周
辺でジョウビタキが近くまで姿を見せた。お花
見広場に来た頃には小雨が降り出したが、遠く
のケヤキの枝に待望のツグミ1羽。続いてシメも1
羽。参加者の殆どの方は今季初認とのことだった。
一段と雨足強くなり、全員が林間アスレチック内
のあずまやに避難し、中止を決断。1時間余りだ
ったが、常連の冬鳥が見られて安堵。(石川敏男)

11月13日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加：44名 天気：晴

オカヨシガモ ヨシガモ マガモ カルガモ オ
ナガガモ コガモ カイツブリ ハジロカイツ
ブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ バ
ン オオバン トビ オオタカ ノスリ カワセ
ミ コゲラ モズ ミヤマガラス ハシボソガラ
ス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒ
ヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ
ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセケ
レイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシ
シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュ
リン (42種) (番外：ドバト) アシ原ではウグイス、
アオジ、オオジュリンが鳴き、ノスリは上空を舞う。
水濠ではカワセミが飛び、現れたベニマシコに歓
声が沸く。ヒバリが囀り、高空にはミヤマガラス
100羽+の群れ、後方でオオタカ!の声に振り向く
と全員が見えるように先頭までゆっくりと飛翔し
てきた。三田ヶ谷池に続く水濠にはここでの初記
録となるハジロカイツブリ。最後に恒例のヨシガ
モを観察し探鳥会を終えた。(相原修一)

11月15日(土) 『しらこばと』袋づめの会

ボランティア：14名

相原修一、宇野澤晃、海老原教子、海老原美夫、
大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、柴野耕一郎、
志村佐治、藤掛保司、増尾隆、松村禎夫、吉原早
苗、吉原俊雄

11月16日(日) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加：46名 天気：晴

コジュケイ キジ カイツブリ キジバト カワ
ウ アオサギ ダイサギ イカルチドリ トビ
コゲラ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジ
ュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクド
リ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ
ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベ
ニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ
(30種) (番外：ドバト、ガビチョウ) 紅葉の始ま
った菅谷館の雑木林を抜けると空をツグミが10羽
以上飛び、シメ1羽が枝にとまった。ホタルの里
でシロハラが鳴きながら飛んだ。都幾川に出ると、
サギやセキレイなどのほか、イカルチドリ2羽が
じっとしていた。対岸の木にカシラダカ、モズが
梢で高鳴きしていた。二瀬橋を渡り土手を進む
とジョウビタキ♀が現れ、ベニマシコの声をした。
一部の人だけしか♀を見られなかったが、最後に
盛り上がった。(千島康幸)

11月16日(日) さいたま市 三室地区

参加：53名 天気：晴

キジ オカヨシガモ カルガモ コガモ カイツ
ブリ キジバト アオサギ ダイサギ コサギ
バン オオバン オオタカ カワセミ チョウゲ
ンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メ
ジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワ
ラヒワ シメ ホオジロ アオジ (33種) (番外：
ドバト) 今回のテーマは「ジョウビタキ」と「カ
モ類」。しかしながら、ジョウビタキは参加者全員
では観察できず、カモ類も個体数が多くなかった。
そんな中でもカワセミが機嫌よく出てくれた上に、
チョウゲンボウも全員の目の前でホバリングをし
てくれた。思惑通りにいかないのが探鳥会。思い
がけない出会いがあるのも探鳥会だ。(須崎 聡)

11月22日(土) さいたま市 見沼自然公園

参加：46名 天気：快晴

キジ オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ オナガガモ コガモ キジバト カワウ アオサギバン オオバン オオタカ カワセミ コゲラモズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ウソ シメ ホオジロ アオジ (34種) (番外: ドバト) 快晴、無風の穏やかな日。タヒバリが、渡ってきたばかりなのか、刈田や加田屋川の土手にやたらと密集していた。いつも楽しみにしていた三崎山の林が伐採されてしまいがっかりしたが、公園に戻るとオオタカの帆翔とウソに出会え、カモ5種も楽しんで、全員無事にゴール。 (浅見 徹)

11月23日 (日、祝) 本庄市 坂東大橋

参加: 39名 天気: 快晴

キジ コガモ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ トビ ハイイロチュウヒ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (32種) 集合場所で間近にノスリが止まり、出発してすぐにベニマシコ♀の食事風景がゆっくり見られ、さらに、ハイイロチュウヒ♀がアシ原をゆったりと飛び回る。滑り出しは上々。しかし、河原に出ると期待に反しカモはコガモが数羽だけ。ここでは珍しいカンムリカイツブリが3羽いてくれたのが救いだった。 (新井 巖)

11月23日 (日、祝) 狭山市 入間川

参加: 24名 天気: 快晴

オカヨシガモ マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナバン オオバン イカルチドリ カワセミ モズ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ アオジ (32種) (番外: ドバト) クイナの仲間が3種見られた。今までの探鳥会で最初に確認されたのはバン。数年前から、冬にオ

オバンが見られるようになった。そして去年の3月クイナが初記録。さて、次に来るのは…クイナ? (長谷部謙二)

11月24日 (月、休) 志木市 柳瀬川

参加: 51名 天気: 曇

ヒドリガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン イカルチドリ イソシギ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ (34種) (番外: ドバト) 今回は一般参加者も多く、小さな子供も4人参加してくれたので、サブリーダーの方々がスコープの高さを変更して彼らにも楽しんでもらえるように努めた。下見の時には見られなかったツグミが多数飛来してくれた。カワセミも2ヵ所で同時に見られ、全員がスコープでゆっくり見られ、イカルチドリも数ヵ所でまとまった数が見られ、参加者を喜ばせた。 (持丸順彰)

11月29日 (土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 33名 天気: 曇後雨

ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ カワアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン ユリカモメ セグロカモメ ミサゴ トビ チュウヒ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ アオゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (46種) (番外: ドバト) 開催時刻には雨があがった為、スタート。谷中湖では浮島や対岸にとまっている猛禽の識別で盛り上がった。ノスリ、チュウヒ、それともトビ??? 東谷中橋でいつものハヤブサを見ていると、あっという間に本降りになってしまった。この後、雨の凌げる解散地へ。天気予報の勉強が必要のようだ。ご参加の皆様、大変すみませんでした。 (佐野和宏)



連絡帳

●2020 年東京オリンピック、カヌー・スラローム競技会場変更、ついに決定

2 月 28 日の NHK などの報道によれば、2 月 27 日にブラジルのリオデジャネイロで開催された国際オリンピック委員会 (IOC) 理事会において、国際競技団体の理解を得られたとして、カヌー・スラロームの競技会場を、当初計画の葛西臨海公園から隣接地に移す変更が承認されました。

日本野鳥の会東京が中心となって進め、日本野鳥の会埼玉の会員の皆様にも多くのご協力をいただいた署名運動が、実を結びました。ありがとうございました。

●県の鳥獣保護員推薦

県の鳥獣保護事業実施業務の一端を担う鳥獣保護員として、平成 27 年度も前年度に引き続き、橋口長和、小荷田行男、小林みどりの 3 名を推薦しました。

●初のレディース探鳥会

野口由美子、吉原早苗、菱沼洋子、3 名の女性幹事による埼玉女性会員限定の探鳥会を、初めて企画しました。5 月 16 日 (土)、中軽井沢駅集合。詳しくは、8～9 ページをご覧ください。

●当会サイトに「埼玉県の探鳥地」を次々 UP しています

IT 委員会 (浅見徹委員長) が充実を目指している当会サイトでは、探鳥会を実施している (県外 5 カ所を含む) 探鳥地 41 カ所の紹介を進めています。2 月現在で 28

カ所、68 パーセントまで完了しました。

当会サイトについてのご意見など、お待ちしております。

●会員数は

3 月 2 日現在 1,778 人。

活動と予定

●2 月の活動

2 月 14 日 (土) 『しらこぼと』3 月号校正 (海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、長嶋宏之)。

2 月 15 日 (日) 役員会 (司会: 小林みどり、各部の報告、5～8 月の行事予定・その他)。

2 月 23 日 (月) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』3 月号を郵便局から発送 (海老原美夫)。

●4 月の予定

4 月 4 日 (土) 普及部・編集部会。

4 月 11 日 (土) 5 月号校正 (午後 4 時から)。

4 月 18 日 (土) 袋づめの会 (午後 3 時から)。

4 月 19 日 (日) 役員会 (午後 4 時から)。

編集後記

全国 90 支部の活動状況を見ると、支部報 (会報) を年 12 回発行しているのは 18 支部、20 パーセントにすぎない。「年 1 回」や「不定期」「休刊中」などもちらほら。みんな苦労しているんだなと、思いを馳せる。(海)

その 20 パーセントの中に『しらこぼと』も入っている。HP でバックナンバーの一覧表を眺めていると、会員一人一人の協力で継続できていることがわかる。(部)

しらこぼと 2015 年 4 月号 (第 372 号) 定価 200 円 (会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル (公財) 日本野鳥の会会員室 TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635 gyomu@wbsj.org

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。印刷 関東図書株式会社